Plenus News Release

2026 年 11 月 13 日

各 位

株式会社プレナス

プレナス米文化継承活動
「しめ飾りワークショップ」開催
しめ飾りづくりで学ぶ、米文化と暮らしの知恵
12 月 13 日（日） 東京・茅場町オフィスで開催

株式会社プレナス（本社：中央区銀座、社長執行役員：金子 史朗）は、持ち帰り弁当の「ほっともっと」、定食レストランの「やよい軒」、しゃぶしゃぶと本格飲茶の「MK レストラン」、そしてラーメン店の「KAYAVA.」を、2026 年 10 月末現在、国内に 2,819 店舗展開しております。

当社は、日本の米食文化の魅力を次世代へつなぐ活動を推進しています。その一環として、12 月 13 日（日）、プレナス茅場町オフィス（中央区日本橋茅場町）にて「しめ飾りワークショップ」を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

本イベントでは、「しめ飾り」づくりを通して、稲わら文化や日本人の暮らしの知恵、お米が人々の暮らしや文化を支えてきたことについて学びます。

1.イベント内容

(1)お正月に飾る「しめ飾り」づくり体験

「しめ飾り」に使われるわら細工は、収穫後の稲を余すことなく活用してきた日本人の暮らしの知恵から生まれたものです。また、わら細工は縄や履物、生活用品など幅広く活用されてきた、日本の米文化を支える伝統技術の一つです。当日は「しめ飾り」づくりを体験しながら、お米が食卓だけでなく、人々の暮らしや文化を支えてきたことについて学びます。





※当日はや南天の葉のご用意はありません。

協力｜わら細工の会 円座 プロフィール



代表 伊藤文子氏

かつて、わら細工は暮らしのあらゆる場面で活用されていました。米の収穫後に残るわらを使って生活用品や祭祀用品をつくり、役目を終えた後は土へ還すなど、無駄のない循環型の暮らしが営まれていました。

円座は、そうした先人の知恵や技を次世代へ伝えることを目的に活動する団体です。八王子地域を中心に月 2 回の体験講習や年に 1 回の作品展の開催のほか、学校や地域での指導にも取り組んでいます。

⑵稲わら文化と「しめ飾り」を学ぶ

大切に育てられた稲は、米だけでなく、収穫後に残る藁（わら）、籾殻（もみがら）、糠（ぬか）まで余すところなく活用されてきました。江戸時代の農書にも、これらを「米の徳」として活用する知恵が記されており、日本人は暮らしの中で稲の恵みを生かしてきました。そこには、限りある資源を大切に使う循環の思想を見ることができます。

正月に玄関へ飾る注連縄（しめなわ）は、歳神様を迎える神聖な目印として用いられてきました。地域ごとに形や飾りは異なりますが、豊作や家族の繁栄への願いが込められており、日本の米文化と深く結びついた風習として受け継がれています。



2.イベント開催概要

⑴イベント名	プレナス米文化継承活動 「しめ飾りワークショップ」～しめ飾りづくりで学ぶ、米文化と暮らしの知恵～
⑵日　　時	2026年12月13日（日） （午前の部）10:00～12:00　※受付開始09:40 （午後の部）13:30～15:30　※受付開始13:10
⑶対　　象	一般・親子対象 ※小学生以下のお子様は、保護者同伴でのご参加をお願いいたします。
⑷会　　場	株式会社プレナス茅場町オフィス 東京都中央区日本橋茅場町 1-7-1　日本橋弥生ビルディング（受付 5 階）
⑸参 加 費	2,000 円/一人
⑹定　　員	各部 20 名
⑺申 込 方 法	以下案内ページをご覧いただき、ページ内のフォームにてお申し込みください。 3 営業日以内に予約確認のメールをお送りいたします。 https:// shimekazari-ws261213.hp.peraichi.com
⑻締　　切	2026年12月10日（木）　※定員になり次第終了
⑼主　　催	株式会社プレナス

3.プレナス米文化継承活動

公式サイト　https://www.plenus.co.jp/cultural/